



計盛 恵子 Keiko Kazumori, Soprano

大阪音楽大学音楽学部卒業、同大学大学院歌曲研究室修了。2008年よりドイツ・ハンブルクに留学。2010年よりオーストリアグラーツ歌劇場に専属アンサンブルメンバーとして所属。小澤征爾音楽塾「こうもり」のオーディションに招待され、アデーレ役でのファイナリスト。ウィーンで開催されたWiener Musikseminarでは、声楽部門第1位、並びに聴衆賞を受賞。「ローエン格林」エーデルクナーベ役でグラーツ歌劇場ソリストデビュー。ザルツブルグ音楽祭やメルビッシュ湖上音楽祭への参加、オーストリアはもとより、ドイツやスウェーデン、フランス等でもオペラガラコンサートや教会コンサートに出演し、ヨーロッパを中心に幅広い活動を行っている。



佐久間 聡一 Soichi Sakuma, Violin

桐朋学園大学卒業。2014年より2022年3月まで広島交響楽団・第一コンサートマスターを務める。前大阪フィルハーモニー交響楽団首席奏者。ソロ、室内音楽奏者。オーケストラ客員コンサートマスターとして世界的に活躍中。関西圏より唯一、世界のコンサートマスター51人に選ばれる。



福富 祥子 Shoko Fukutomi, Cello

東京芸術大学大学院及びベルリン芸術大学を修了。ローマ国際音楽コンクール第1位、ヨーロッパ国際音楽コンクールデュオ部門最高位、令和元年度大阪文化祭賞奨励賞、2019年度音楽クリティック・クラブ賞奨励賞受賞等、受賞多数。ソロ・室内楽の分野で積極的な活動を行うほか、東京芸術大学大学院博士後期課程では「演奏家の心身の調和」についての研究で博士号（音楽）を取得。現在、東京芸術大学非常勤講師、京都市立芸術大学非常勤講師。



多川 響子 Kyoko Tagawa, Piano

京都市立芸術大学及び大学院卒業。ドイツ・ドレスデン音楽大学ではペーター・レーゼル氏に師事。2002年度バロックザール賞受賞。2009年～2011年に大阪・京都で開催した「ベートーヴェン ピアノソナタ完全全曲演奏会 ～ 35のソナタ～」は日本経済新聞をはじめ、各紙に取り上げられ好評を得る。毎年東京、国内各地でソロリサイタルを行う他、室内楽の分野においてもN響首席メンバーをはじめ国内外数多くの演奏者との共演をしている。現在、大阪芸術大学、京都市立京都堀川音楽高校非常勤講師。



折本 慶太 Keita Orimoto, 箏・尺八・三絃

尺八を橋本岳人山師に師事。箏・三絃を生田流新絃社二代家元 狩谷春樹師に師事。1997年都山流尺八大阪府コンクール第1位。2001年NHK邦楽技能者育成会第46期卒業。同年より現在まで「舞太鼓あすか組」のコンサートツアーに参加。尺八・箏十七絃・二十絃・三絃奏者として国内外で多数の公演に出演。現在、都山流尺八 師範（折本 岳慶山）。生田流箏曲新絃社 蒼竜軒（折本 大人樹）。



澤 健太郎 Kentaro Sawa, Contrabass

MIアメリカ ロサンゼルス校卒業。帰国後はジャズ、ポップス～ロックまで幅広いアーティストサポートのほか、自身のバンド「トライベッカー」では3枚のアルバムをリリース。現在は演奏活動と同時に専門学校で後進の指導にあたるほか、自身で教室も経営している。



土屋 和之 Kazuyuki Hijiya, Baritone&Cello

2012年ロンドン・ブルームズベリーにてコンサートを開催。2013年「源氏物語英訳完成記念コンサート」をイシハラホールにて開催。京都国立博物館にて18回、北野病院プラナホールにて20回のコンサートを行った。2018年常翔ホールにてコンサート。声楽をベルリン芸術大学ウルリヒ・ボアマン、浜渦章盛、禪定佳隆の各氏に師事。チェロを渡部良氏に師事。京都大学医学部卒業。日本消化器病学会専門医。



2022 Summer Concert

2022.8.21 -SUN- Start-3:00 Open-2:45

京都国立博物館 平成知新館 地下一階 講堂



- 主催: Hijiya Music Club 後援: 京都国立博物館 -

PROGRAM

1. 「椿姫」より プロバンスの海と陸／ヴェルディ
2. 「セルセ」より オンブラマイフ／ヘンデル

Baritone 土屋和之・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

3. 落葉松／小林秀雄

Soprano 計盛恵子・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

4. 達者でナ／中野忠晴

Baritone 土屋和之・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

5. ツィゴイネルワイゼン／サラサーテ

Violin 佐久間聡一 Piano 多川響子

6. ノクターン（遺作）／ショパン

Piano 多川響子

7. 鳥の歌／カザルス

Cello 福富祥子・Piano 多川響子

8. ピアノトリオ1番より 1.4 楽章／ブラームス
9. G線上のアリア -トリオ版- /バッハ

Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子

10. 川の流れるように／見岳章

Soprano 計盛恵子・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

11. 春の海／宮城道雄

箏 折本慶太・Cello 福富祥子

- 休憩 -

12. 刈干切り唄／宮崎県民謡

尺八 折本慶太・Baritone&Cello 土屋和之

13. 走り火／二代狩谷春樹

三絃 折本慶太

14. ELEGY／ルドルフ・マッツ

15. リベルタンゴ／ピアソラ

Cello 土屋和之・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

16. 「キャンディード」より 着飾ってきらびやかに／バーンスタイン

Soprano 計盛恵子・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子

17. 「トスカ」より 星は光りぬ／プッチーニ

18. 「道化師」より 衣裳をつけろ／レオンカヴァッロ

Baritone 土屋和之・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

19. メリー・ウイドウ・ワルツ／フランツ・レハール

20. 「椿姫」より 乾杯の歌／ヴェルディ

Soprano 計盛恵子・Baritone 土屋和之・Violin 佐久間聡一・Cello 福富祥子・Piano 多川響子・Contrabass 澤健太郎

INTRODUCTION

*「椿姫」より プロバンスの海と陸／ヴェルディ

歌い続け声帯の疲れたところで高音を柔らかく出し、間を存分に活かすことが必要である。装飾音を効果的に歌うことが要求される。私が20年間練習してきた曲である。

*「セルセ」より オンブラマイフ／ヘンデル

下降および上昇旋律を組み合わせた、伸びやかな明るい旋律線を持つ。この曲は「世界で初めて電波に乗せて放送された音楽」でもある。

*落葉松／小林秀雄

何度も聴き返してしまうほど聴き惚れる一曲。音量的に最も山場となる「落葉松の小鳥の雨に」のフェルマータは声・呼吸・表現力等すべてが見られるところである。計盛氏の為の曲と私は感じ彼女の大学時代から歌い続けてもらっている。

*達者でナ／中野忠晴

日本民謡を学ぶための基本的な発声が封じこまれている。私が計盛氏に近づける唯一の曲である。

*ツィゴイネルワイゼン／サラサーテ

歌謡性と技巧性が散りばめられている難曲。佐久間氏の卓越した音楽表現に浸りたい。

*ノクターン(遺作)／ショパン

「遺作」とは「ショパンの死後に出版された」ということを指し、「最後の作品」という意味ではなく、彼がまだ20歳頃の作品。

*鳥の歌／カザルス

タルーニャ民謡で世界国際平和デーにて国際連合本部でカザルスが演奏し、世界的に放送された。聖誕を鳥が祝っている様子を歌っている。鳥が「peace」とさえずるように演奏することでも有名である。

*ピアノトリオ1番より 1.4 楽章／ブラームス

20才を越えたばかりの若きブラームスの新鮮で前向きな情熱が発揮された曲で、1854年に書かれている。その後修正を続け、1890年に第2版が完成。彼までの古典派ロマン派の作曲者たちの期待を一身に受けた作品である。

*G線上のアリア -トリオ版- /バッハ

バッハの生前にはこの曲は有名にはならず、死後100年ほどして作品の価値が認められ始めた。

*川の流れるように／見岳章

平成元年1月に発売されたが、同年6月美空ひばりは52歳で死去し、結果的に本楽曲は遺作となった。第31回日本レコード大賞では、本楽曲に金賞と作曲賞が授与されるとともに、故人となったひばりにも「特別榮譽歌手賞」が授与された。

*春の海／宮城道雄

春ののどかな瀬戸内海の情景を現した曲である。Aパートはゆったりとした浜辺の渚の様子を、Bパートは少しテンポを上げ、舟歌まじり船頭が櫂を漕ぐ様子が表現されている。和の心を代表する曲である。

*刈干切り唄／宮崎県民謡

神話と伝説で有名な宮崎県の高千穂地方の山村で、大鎌を振って草を刈り込んでいく作業唄である。農作業への深い愛着と同時に男女の愛をも唄っている。

*走り火／二代狩谷春樹

アメリカでの山火事の模様がテレビで放送され、その火の脅威や逃げ惑う動物たちの様子を見て、恐怖や生命が奪われる哀しさを痛感した気持ちを表現した曲である。

*ELEGY／ルドルフ・マッツ

現代チェロの旗手である、HAUSERにより演奏されたロシア風の悲歌であり、低音を生き生きと弾ききり、柔らかい中高音のメロディを浮き立たせる演奏が必要である。

*リベルタンゴ／ピアソラ

題名は、「リベルタ（自由）」と「タンゴ」を合成して付けられたものである。全曲に渡り躍動するリズム感とエネルギーにあふれ、ピアソラの曲の中でも特に人気が高い。

*「キャンディード」より 着飾ってきらびやかに／バーンスタイン

ドイツ生まれの青年キャンディードと、相思相愛の恋人クネゴンデは、一度は結ばれそうになりながら、戦争や略奪など様々な禍に遭遇。世界中の土地で一癖も二癖もある人物と出合い、その都度、それまでの全てを御破算にするような暗転に巻き込まれていくという奇想天外なファンタジー。このアリアは国が滅び、パリで高級娼婦となったクネゴンデはその運命を嘆くのだが、高価なドレスや宝石を前に笑いが止まらなくなるというもの。ミュージカル全体を通して「楽天主義」がテーマとなっている。

*「トスカ」より 星は光りぬ／プッチーニ

第3幕で、画家カヴァラドッシが明け方の星を仰ぎ見つめる恋人であるトスカとのほかなない愛を想い、涙とともに別れを告げるアリア。最高音部を美しくダイナミックに歌いこなすことが必要である。

*「道化師」より 衣裳をつけろ／レオンカヴァッロ

オペラ『道化師』の中でカニオによって歌われる。人々の生臭い日常生活を描いた彼の代表作。このオペラは芝居の一座の物語を描いており、カニオはその座長を務めている。妻ネッタの浮気を知り、激高し、そして悲しむ。そんな心情の中でも「舞台の上では自分は道化師を演じなければいけない」という、道化師の悲しい宿命を激情的に歌い上げるアリアである。

*メリー・ウイドウ・ワルツ／フランツ・レハール

結婚を決意したダニロとハンナが歌う美しく、美しいワルツである。計盛恵子がハンナを歌い、土屋がダニロを歌う。

*「椿姫」より 乾杯の歌／ヴェルディ

7年前の、計盛・土屋のデュエットがYoutubeで「乾杯の歌 土屋和之」で検索できる。今回の土屋の高声音の伸びを比較して頂ければ光栄である。